

2017年7月
No.17-106a(全)※5

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

■新規受託項目

- [-] 百日咳抗体 IgA
- [-] 百日咳抗体 IgM

※検査要領の詳細は裏面をご参照下さい。

■受託開始日

- 2017年7月20日(木)

以上

百日咳抗体 IgA、百日咳抗体 IgM

单一血清での診断補助検査として、百日咳の早期診断に貢献します。

百日咳は、主に百日咳菌の気道感染による急性呼吸器感染症であり、ワクチン接種前や未完了の乳幼児が発症した場合、重症化する傾向があります。2000年以降はワクチン効果が減弱した成人患者の報告数が増加し、乳幼児に対する感染源となっていることから、成人を含めた早期診断・治療開始が重要と考えられています。

百日咳の検査は、培養と百日咳抗体 IgGに加え、2016年11月より遺伝子検査が保険適用となっています。百日咳抗体 IgAとIgMが加わることで、早期診断への検査体制がさらに充実することとなりました。

百日咳抗体 IgAは、百日咳毒素(PT)および纖維状赤血球凝集素(FHA)の総IgA抗体価を測定し、百日咳抗体 IgMは、百日咳菌に対するIgM抗体価を測定いたします。IgA抗体は病日約21日、IgM抗体は病日約15日をピークに発現し、IgA抗体はIgM抗体よりも持続して検出されることが確認されています。IgAおよびIgM抗体はワクチンの影響を受けないため、これまで急性期と回復期のペア血清を必要とした抗体検査において、单一血清での診断率向上が期待されています。

■疾患との関連

百日咳

■関連する主な検査項目

百日咳抗体[EIA](PT-IgG, FHA-IgG)

百日咳菌 DNA

■検査要領

項目コード	-	-
検査項目名	百日咳抗体 IgA	百日咳抗体 IgM
検体量(容器)	血液 1mL(容器番号:01) ⇒ 遠心分離 ⇒ 血清 0.2 mL	
保存方法	冷蔵	
検査方法	ELISA	
基準値	8.5未満 陰性 判定基準:下記参照	
所要日数	3~6日	
実施料	80点 ([D012]感染症免疫学的検査「12」)	
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)	
検査委託先	エスアールエル (→5)	

▼判定基準 百日咳抗体 IgA, 百日咳抗体 IgM

NTU値	判定
<8.5	陰性(−)
8.5~11.5	判定保留(±)※
>11.5	陽性(+)

※2~4週間後に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

■参考文献

小児呼吸器感染症診療ガイドライン作成委員会:小児呼吸器感染症診療ガイドライン 2017(協和企画):236~240, 2016. (臨床的意義参考文献)